

# 令和5年度 政務活動実施成果報告書

日本共産党茨城県議会議員団

## 県民の暮らし(教育・医療・雇用等)

### 1. 目的

県民の暮らしや医療、雇用や教育など多くの分野から寄せられる困りごとや要望を県および関係機関に示し、問題解決や要望実現のために調査や要請を行った。

### 2. 活動時期

令和5年4月～令和6年3月

### 3. 主な活動内容

■7月24日 茨城労働局長と茨城地方最低賃金審議会長宛に、最低賃金を1500円に引き上げ等、『物価高騰を上回る最低賃金の引上げと中小企業支援の拡充を求める要請書』を提出 **写真**



「要請書」を提出する江尻議員(左)＝23年7月

・江尻県議は、地域の医療や介護を支えるエッセンシャルワーカーでも非正規雇用が増えているとし、最低賃金の大幅引き上げによる待遇改善を求めた。

■10月26日 県へ『2024年度の県予算編成並びに施策にたいする重点要望書』(10分野314項目)を大井川知事宛てに提出 **写真**



横山副知事(中央)に「要望書」を提出する江尻議員(左から3人目)=23年10月

◆主な重点要望項目

1. 物価高騰から暮らしと営業を守る緊急対策
2. 暮らしを支える医療・福祉・子育て支援の充実
3. 子どもの個人の尊厳を尊重する教育、保護者の教育費負担の半減を
4. 中小企業支援を抜本的に強め、安定した雇用の拡大
5. 食料自給率の向上、農業資材の高騰に緊急支援を
6. 住民主体で安心・安全・魅力あるまちづくり
  - ・鉄道・地域公共交通
  - ・道路整備・交通安全
  - ・河川整備・治水対策
  - ・環境整備
  - ・住民主体のまちづくり
7. 気候危機打開に向けて、原発ゼロ、省エネ・再エネ推進を
8. 公共事業は防災・老朽化対策を柱に
9. 地方自治の本旨を発揮し、県民本位の県政を確立
10. 憲法を生かし、平和行政・基地問題に取り組む

■6月・3月の予算特別委員会、12月・3月の一般質問で関連する質問を行った。

#### **4. 成果等**

10月26日に知事提出した要望や、以前から求めていたものなど、令和6年度予算に盛り込まれたものにより下記の項目があげられる。

- ・児童相談所で児童福祉司12名、児童心理司14名増員
- ・特別支援学校で校舎増築の施設費、神栖特別支援学校の整備事業費が計上
- ・土浦保健所が2024年度着工。古河、潮来、竜ヶ崎、つくばの4保健所は2024年度に基本設計
- ・薬剤師・薬学生への奨学金返済・貸与事業
- ・重度心身障害者の医療費助成が拡充

### **新産廃最終処分場整備計画**

#### **1. 目的**

県が日立市諏訪町に整備を計画する産業廃棄物最終処分場について、地域住民から出される自然災害や交通事故などへの不安や現地の実態を聞き取るとともに、候補地選定の過程や災害発生の危険性などの問題点を明らかにし、計画の見直しを求めた。

#### **2. 活動時期**

令和5年4月～令和6年3月

#### **3. 主な活動内容**

日立市住民の方々など、現状に関する課題等の意見交換を継続的に行った。

#### **4. 成果等**

3月の防災環境産業委員会では、事業費230億円から269億円に大幅増額した経過について県の適正評価をただすとともに、搬入道路の事業費も考慮すれば、さらなる上振れは避けられないと指摘。住宅団地に近接する搬入道路の整備と処分場建設の中止を求めた。

### **原子力関連(東海第二原発・「常陽」など)**

#### **1. 目的**

東海第二原発をはじめとする県内の原子力施設の今後のあり方について、特に安全性の観点から調査を進めるとともに、避難計画の独自検証や住民の意見聴取に取り組んだ。

## 2. 活動時期

令和5年4月～令和6年3月

## 3. 主な活動内容

<2023年>

- ・6月29日 大井川知事宛に『福島第一原発処理汚染水の海洋放出反対を求める要望書』を提出。写真



処理水の放出反対を求めて要望書を手渡す江尻議員＝23年6月

- ・7月11日 東京高等裁判所にて東海第二原発差し止め控訴審を傍聴
- ・7月24日 共産党縣市町村議員など14名で大洗町にある日本原子力研究開発機構の高速実験炉『常陽』を視察。併せて廃炉を求める要請書を提出。写真



高速実験炉「常陽」を視察する江尻議員(右から4人目)＝23年7月

・10月16日 県庁の記者クラブにて、東海第二原発の防潮堤工事に施工不良があることを公表。**写真**  
 ▽取水口部分の防潮堤の基礎となる「地中連続壁」でコンクリートが正しく打設されていない▽基礎の鉄筋が正しい形状で組み立てられていない等の問題点を指摘した。



東海第二原発の防潮堤工事の施工不良を指摘する江尻議員(左)＝23年10月

#### 4. 成果等

各種団体等との意見交換や、上記の活動等を踏まえ、一般質問や予算特別委員会(下記参照)、常任委員会で質問を行った。

	一般質問	予算特別委員会
2023年 6月議会		▽原子力行政について ・東京電力福島第一原発処理汚染水の海洋放出に反対を ・東海第二原発に係る避難計画策定のうち障害者グループホームの位置付けと対応状況 ・高速実験炉「常陽」の再稼働問題
2023年 9月議会		
2023年 12月議会		▽老朽化した原子力施設の廃止および安全管理に県の責任を果たし、東海第二原発は廃炉に(決算討論)
2024年 3月議会	▽東海第二原発の避難計画、防潮堤の施工不良問題について	▽東海第二原発の再稼働・運転延長問題について

## 豪雨災害(取手市・龍ヶ崎市)

### 1. 目的

令和5年6月に発生した台風2号にともなう豪雨で、民家の浸水被害などが広がった取手市や龍ヶ崎市で被災状況を調査するとともに、生活者支援、営業の再建に向けて被災住民や事業者の県への要望を含めた意見聴取に取り組んだ。10月16日

### 2. 活動時期

令和5年6月～令和6年3月

### 3. 活動内容

・6月6日 甚大な被害が出ている取手市双葉地区の自治会メンバーと懇談、要望を聞き取る 写真



住民から被災状況を聞き取る江尻議員(右から4人目)＝23年6月、取手市双葉地区

・6月9日 党国会議員の現地調査に、床上浸水被害の出た龍ヶ崎市から同行



牛久沼の越水による店舗の浸水被害を調査する江尻議員＝23年6月、龍ヶ崎市

#### **4. 成果等**

6月の予算特別委員会で、取手市双葉地区での県として排水対策の強化、龍ヶ崎市での牛久沼の越水については、県の八間堰改修工事が被害要因の一つに考えられるとして、被災者の立場に立った検証を求めた。

### **広報活動**

#### **1. 目的**

茨城県政の実態、議会の内容等を県民に知らせることが重要と考え、県議団ニュースを発行及び県議団ホームページにて掲載。**写真**

#### **2. 活動時期**

- ・県議団ニュース発行 2023年6月号
- ・県議団ニュース発行 2023年7月号
- ・県議団ニュース発行 2023年11月号
- ・県議団ニュース発行 2024年1月号
- ・県議団ニュース発行 2024年2月号
- ・県議団ニュース発行 2024年4月号



県政と江尻議員の議会活動を伝えた県議団ニュース

### 3. 活動内容

- 各定例会後には県議団ニュースを作成し、新聞折込等も使って配布。
- 県議団ホームページ内の「県議会報告」にて掲載。

### 4. 成果等

多くの住民の方々に県政の動きを知らせる事により、発行物を見た方々から意見・感想等などが寄せられ、次の県政要望などに繋げた。